

面接時の対応チェックポイント

ポイント	チェック
1 最初にいきなり「自己紹介を2分間程度してください」と振る	
2 求職者の緊張感をほぐし、リラックスさせられるよう気遣いをする	
3 求職者の人格を大切にされた接し方をする(上から目線の立場は取らない)	
4 履歴書を事前に確認して、求職者が和みやすい話題から入っていく	
5 求職者に親しみのある言葉をかける	
6 包容力のある態度で接する	
7 求職者の答えに対して暖かい気持ちで接し、決して求職者を批判するような態度や高圧的な姿勢は示さない	
8 求職者が企業を選んでいることを前提に、尊重した姿勢をもって接する	
9 面接担当者は、求職者から『はい』・『いいえ』の答えしか返ってこないような質問は避ける	
10 求職者が、なぜそのように考えるのかを聞き出せる質問をする	
11 求職者の志望動機、当社を求職活動先に選んだ理由、職種選択の理由が出てくるような質問をする	
12 求職者がより多く語れるように、面接担当者は聞き上手に徹する	
13 求職者が共感を呼ぶような相槌を打ち安心させる	
14 求職者の人柄や潜在能力がつかめるような質問、面接を行う	
15 求職者が持っている基本的な判断基準、考え方を測ることができるようにする	
16 面接担当者の質問に、期待する答えが返ってきたことのみで過度な評価はしない	
17 業務内容が「厳しい事」を伝え、それに「どう思うか」を聞く	
18 業務内容が「難しい事」を伝え、それに「どう思うか」を聞く	
19 業務内容が「大変な事」を伝え、それに「どう思うか」を聞く	
20 仕事を通じて「楽しい事」を伝え、それぞれに「どう思うか」を聞く	
21 仕事を通じて「うれしい事」を伝え、それぞれに「どう思うか」を聞く	
22 仕事を通じて「やりがいがある事」を伝え、それぞれに「どう思うか」を聞く	
23 履歴書内容ではなく、「当社に採用される為のPRをしてください」と振る	